

令和4年度 道川分教室研究計画

研究主題

一人一人の笑顔があふれ、きらり輝く授業をめざして ～道川分教室のこれまでの実践を生かしながら～ (単年度)

1 今年度の研究をすすめるにあたって

道川分教室では、令和2年度からの2年間「児童生徒による学習評価の充実～自立活動の授業づくりを通して～」の研究主題の基、重度・重複障害のある児童生徒が学びを実感し、達成感を表す学習評価の在り方を求め、自立活動の授業づくりに取り組んだ。具体的には、研究対象の個別学習を選定し、授業構想や学習評価に係るツール及び映像を活用しながら、職員全員で授業づくりを行った。結果として、個に応じた効果的な支援等を多様な視点で検討・提案することにつながり、児童生徒の変容を導くことができた。表現の仕方は微細な児童生徒であるが、映像を活用した評価で見られた授業時の笑顔からは、学びを実感し、達成感を得ている様子を感じ取ることができた。

今年度は、この研究成果を汎用化させる1年として研究を推進していく。そして、全生徒が学びを実感し、笑顔あふれる授業づくり・授業改善を行い、確かな成長につなげたい。

なお、「ゆり支援学校道川分教室」は、今年度をもって閉室し、その教育は秋田きらり支援学校へ引き継がれる(移管する)ことになる。道川分教室は、前身である本荘養護学校時代から、病院への訪問教育における授業実践を積み重ねてきており、今に引き継がれている。研究推進にあたっては、この間の実践で得た知見等も生かしながら進め、重度・重複障害教育における専門性の継承にもつながるまとめとしたい。

2 生徒の実態

道川分教室は、独立行政法人国立病院機構あきた病院重症心身障害病棟に入院している児童生徒を対象に訪問教育を行っており、今年度は中学部1名、高等部3名の生徒が在籍している。

生徒は、脳性まひ等に起因する重度の肢体不自由と知的障害を有しており、日常生活全般において医療的ケアや生活支援を必要としている。周囲からの働き掛けに表情や微細な身体の動きで気持ちを表す生徒、簡単な言葉のやりとりができる生徒など表現の仕方は様々であるが、今までの学習の積み重ねから、表情が豊かになったり、安定した気持ちで過ごしたりするなどの変容が顕著に現れている。どの生徒も友達や周囲の人との関わりを楽しみにしており、一生懸命気持ちを表そうとする様子が伝わってくる。

3 内容と方法

「授業づくり」「授業づくりを支える研修」を研究の柱として進め、授業づくりに係る実践を事例としてまとめる。

(1) 授業づくり

○「授業づくり検討会」(※年間の計画についてP6参照)を年5回実施し、具体的な授業づくり・授業改善を行う。

- ・実態把握と指導目標の設定(流れ図による中心課題の導き→個別の指導計画策定)
- ・授業構想の検討(授業デザインシート・略案による検討)
- ・授業改善の視点検討(映像記録等による評価、変容の確認)
- ・目標等の修正(個別の指導計画の改善)

○授業実践に当たっては、以下の観点を基に指導・支援を工夫する(共通実践事項)。

- ・流れのある題材計画
- ・言葉掛け
- ・姿勢づくり
- ・教材・教具
- ・授業展開

(2) 授業づくりを支える研修

○総論 「重度・重複障害（病院訪問）教育における授業づくり（仮）」

令和4年9月26日（月）

指導助言（講師） 秋田県教育庁特別支援教育課主任指導主事 菊地 真理 先生

○各論

- ・リハビリテーション参観（あきた病院 OT、PT、ST） 5月下旬
目的：専門的な視点からのアドバイスを授業に生かす
- ・教材・教具づくり研修（本校主催）7月、1月
- ・ICT研修

<授業づくり検討会の年間計画>

○目的

- ① アセスメントの評価や自立活動の流れ図の見直しと確認を行い、個別の指導計画、授業の指導内容、題材構成等の検討を行う。
- ② 生徒の興味・関心や主体性を引き出し、達成感を味わうための教材・教具や教師の関わり方等について分析し、授業の評価、改善に生かす。
- ③ 学習評価記録の分析や考察を通して生徒の変容や成果と課題を明らかにし、次題材へ生かす支援等の方向性を検討する。

◇授業づくり検討会Ⅰ 5/12（木）～16（月）

- ・生徒一人一人の実態、卒業後の目指す姿、教育的ニーズ、目標等について確認し、昨年度作成した自立活動の流れ図を確認し、それを基に個別の指導計画、個別学習の指導内容等について検討する。
- ・道川授業デザインシートを活用し、指導主事計画訪問で提示する題材で目指す姿、題材の内容、手立て等について検討する。

◇授業づくり検討会Ⅱ 5/30（月）～6/3（金）

- ・指導主事計画訪問で提示する授業の様子をビデオで視聴し、改善点について話し合い指導案（略案）に反映させる。
- ・題材における生徒の目指す姿について共通理解し、評価記録用紙に反映させる。
※検討後の改善授業の様子を6/6（月）～17（金）に撮影する。

◇授業づくり検討会Ⅲ 7/11（月）～15（金）

- ・指導主事計画訪問を受けた成果と課題の確認をする。また、中間評価（生徒の変容の確認、指導内容・方法を振り返り）を行い、個別の指導計画の見直し等を通して2学期以降の指導・支援に生かす。

◇授業づくり検討会Ⅳ 9/20（火）～26（月）

- ・映像記録等による評価と改善点について検討する。
- ・生徒の変容について共通理解を図る。

◇授業づくり検討会Ⅴ 11/24（木）～30（水）

- ・生徒一人一人の今年度の変容や成果と課題について検討し、個別の指導計画の見直し等を通して3学期の指導に生かす。

4 研究計画（案）

主 な 活 動 内 容				
月	研 究 会 ※	授業づくり検討会・授業研究	研 修	その他
4	○分教室研究会①(21) ・今年度の研究の進め方について ・研究概要の確認			
5	○分教室研究会②(11) ・事例研究の進め方について	○授業づくり検討会Ⅰ(12～16) ・実態把握、教育的ニーズ、実態に基づく中心課題の検討 ・指導目標、指導内容の検討 ・題材計画の検討 ・事例テーマの検討		・訪問担当教員研修会：前期(19)
6		○授業づくり検討会Ⅱ(5/30～6/3) ・指導主事訪問指導案検討 ・授業デザインシート作成	★「ICT機器研修(情報部)」	・指導主事計画訪問(24)
7		○授業づくり検討会Ⅲ(11～15) ・映像記録等による評価 ・1学期の成果と課題 ・2学期に向けての改善点	☆「教材・教具研修会①」	
8	○分教室研究会③(19) ・成果と課題の共通理解、後期に向けた授業改善		・教育課程研修会(1)	・県央地区病弱教育研修会() *秋田きらり支援学校主催
9		○授業づくり検討会Ⅳ(20～27) ・映像記録等による評価と改善	★「病院訪問教育における授業づくり(仮)」(26)	
10				・訪問担当教員研修会：後期(7)
11		○授業づくり検討会Ⅴ(24～30) ・生徒の変容の確認 ・2学期の成果と課題 ・3学期に向けての改善点		
12	○分教室研究会④(13) ・研究の評価及びまとめ			
1	○分教室研究会⑤(23) ・成果と課題の共通理解		☆「教材・教具研修会②」	・病弱教育研修会() *秋田きらり支援学校主催
2				
3				

※職員会議の中で行う

☆本校主催

★分教室主催